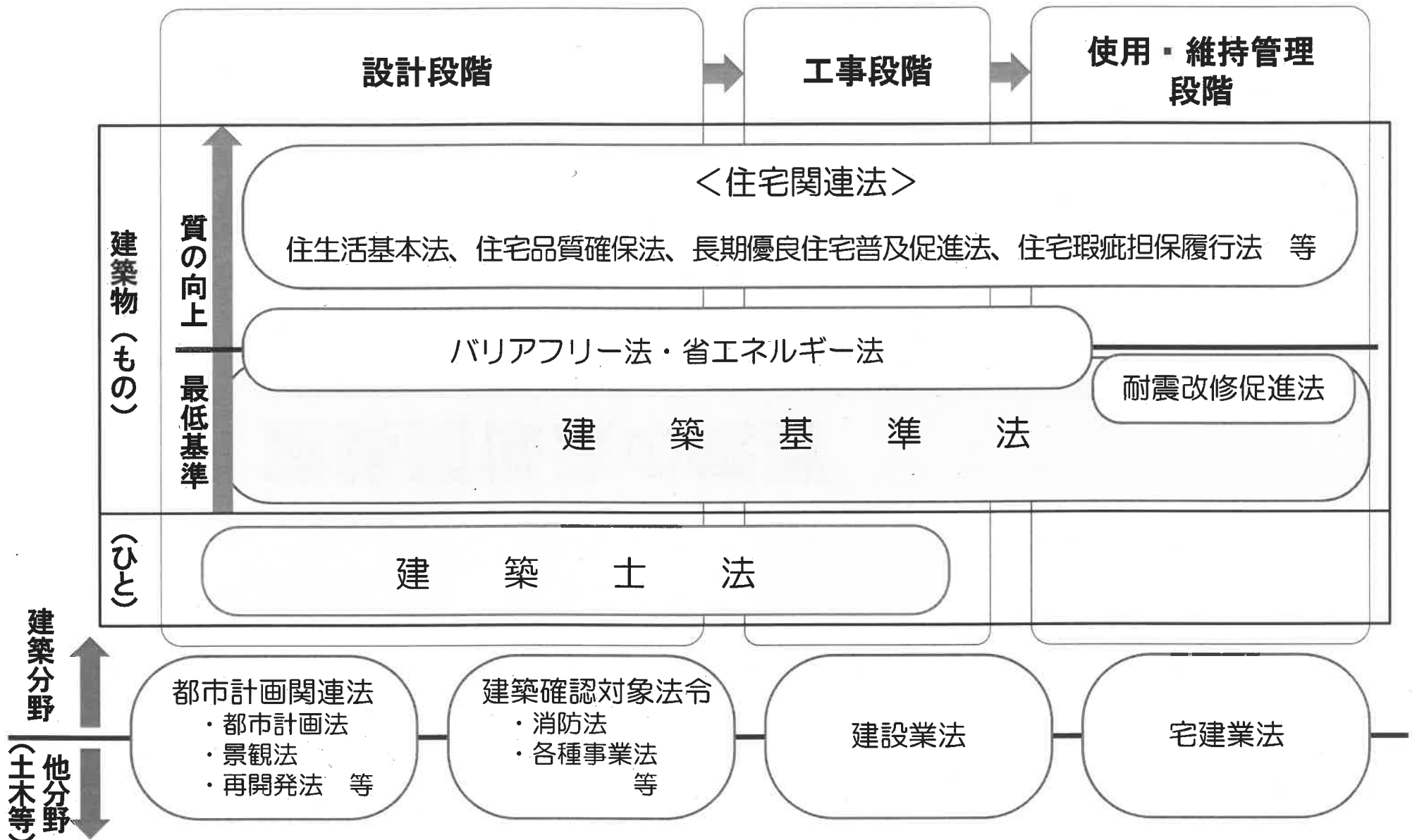


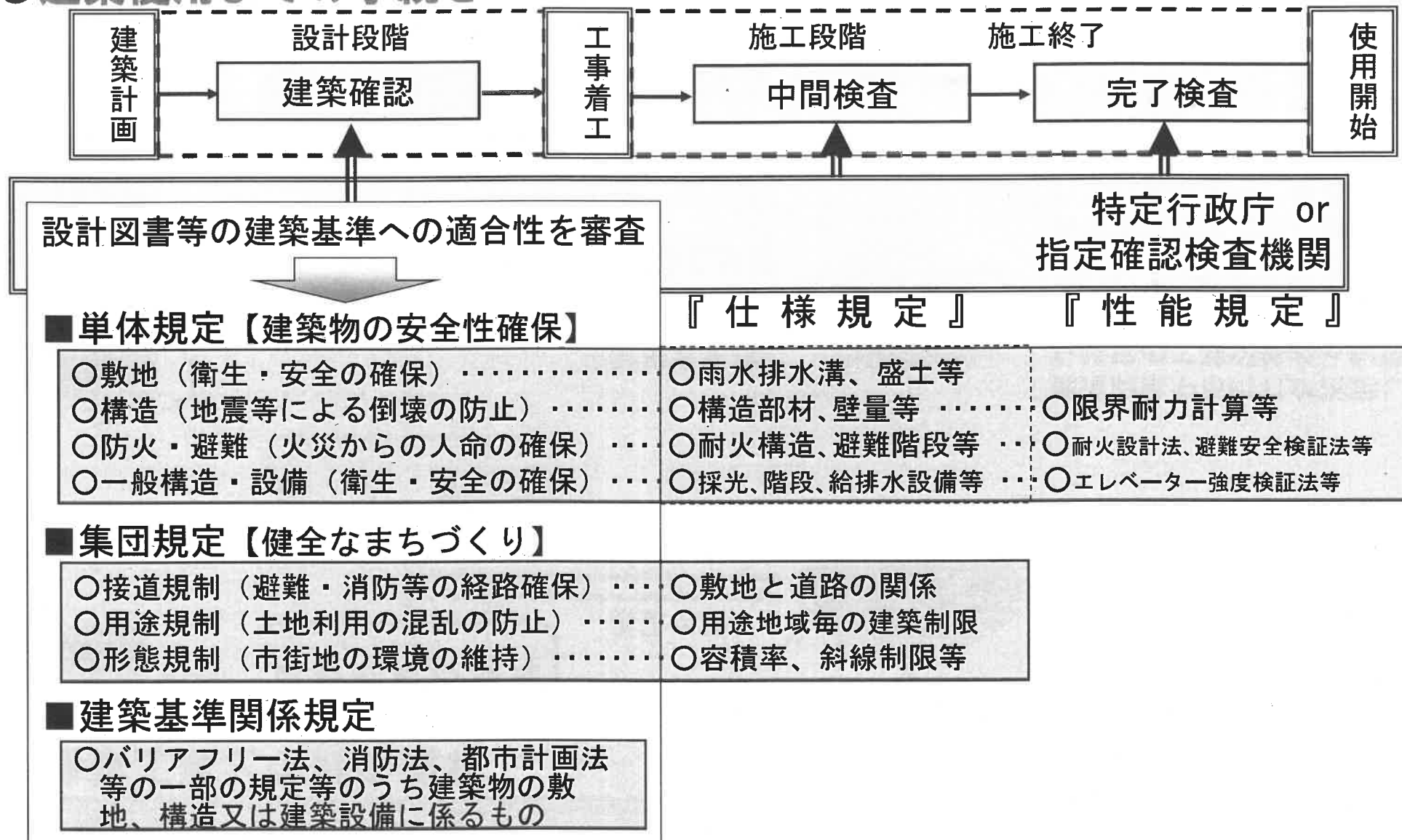
建築関係法の概要

1. 建築法体系の概要



2. 建築基準法(昭和25年法律第201号)について

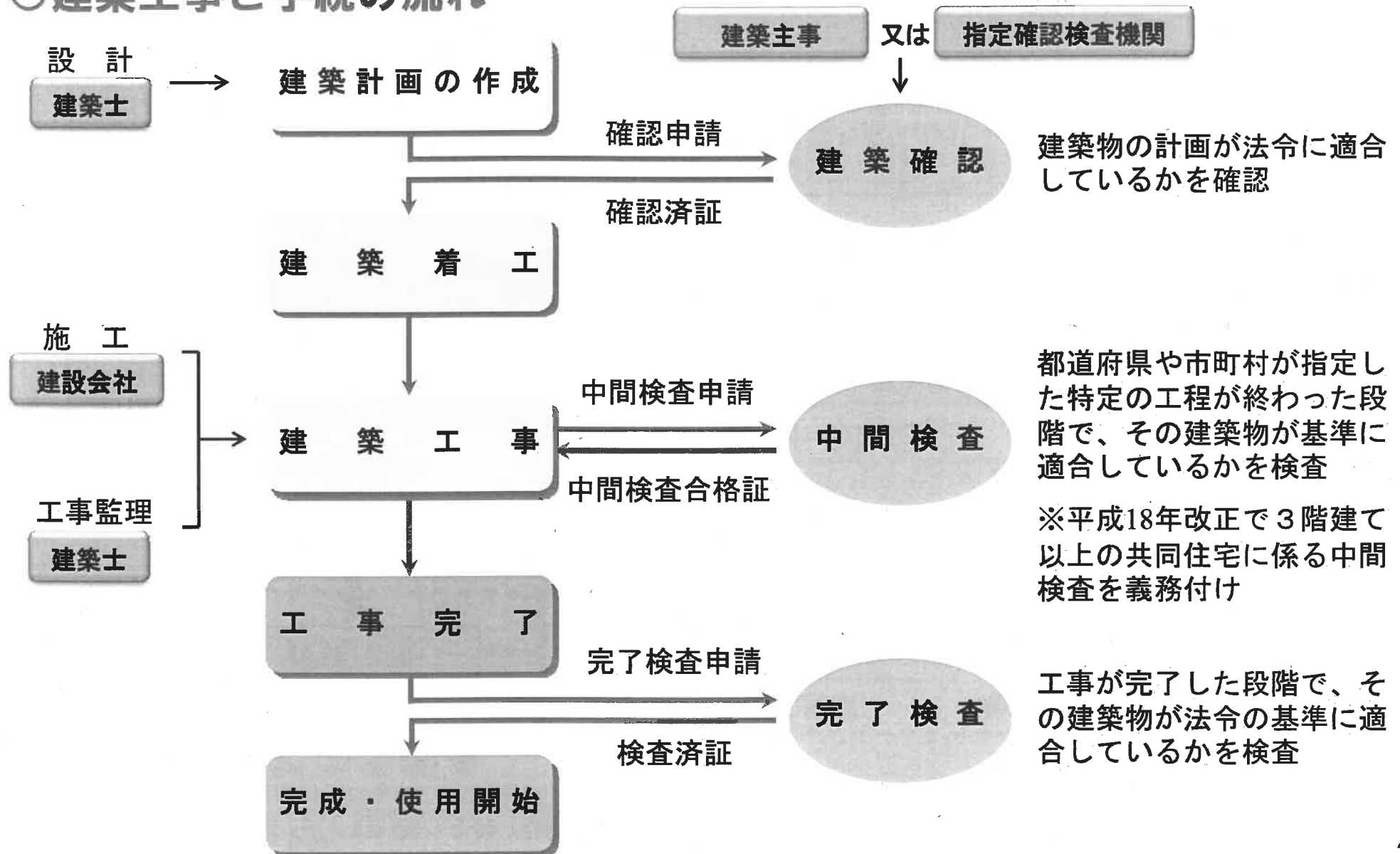
○建築使用までの手続き



【 建 築 基 準 】

2. 建築基準法について

○建築工事と手続の流れ



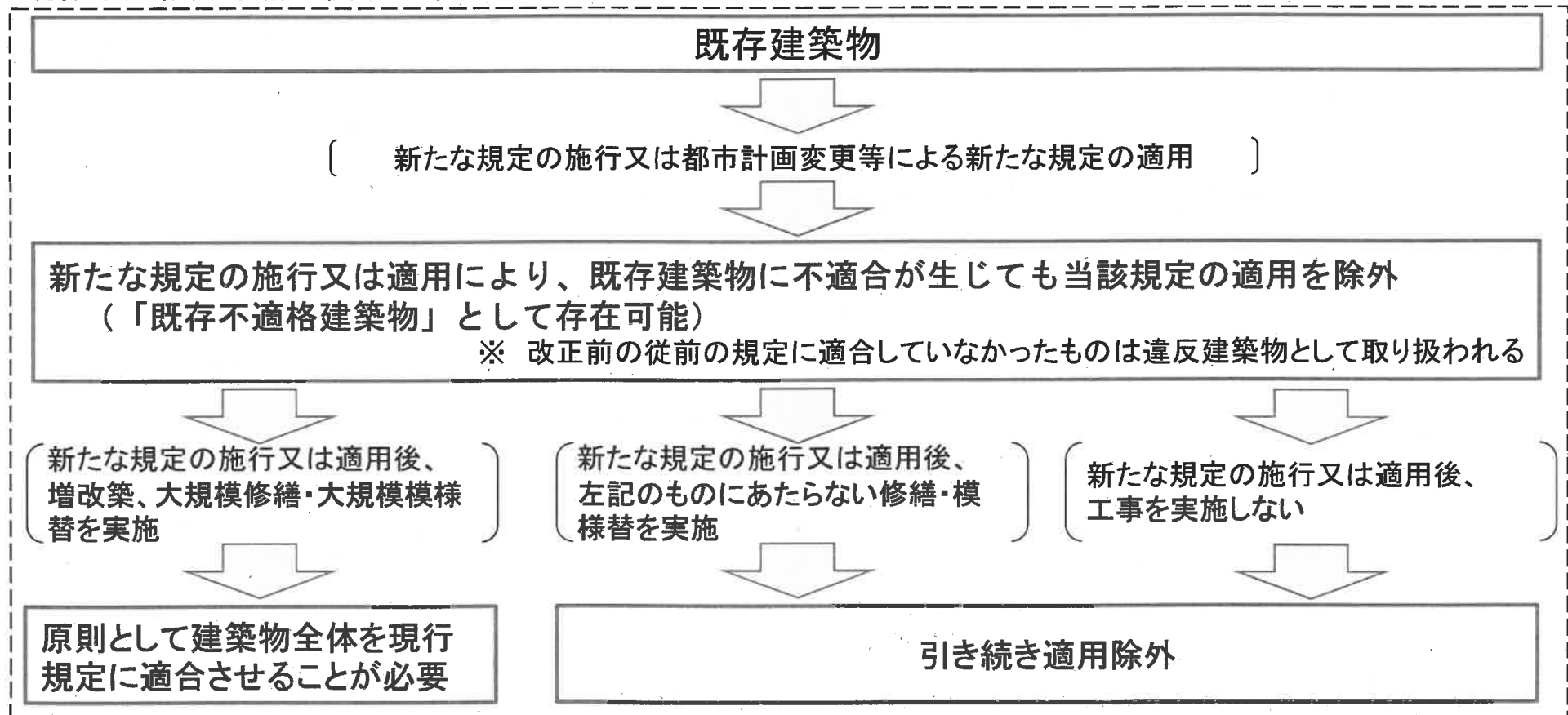
2. 建築基準法について

○既存不適格建築物について

既存不適格建築物

既存の適法な建築物が法令の改正等により違反建築物とならないよう、新たな規定の施行時又は都市計画変更等による新たな規定の適用時に現に存する又は工事中の建築物については、新たに施行又は適用された規定のうち適合していないものについては適用を除外することとし、原則として、増改築等を実施する機会に当該規定に適合させることとしている

<既存不適格建築物に関する規定の適用について>



2. 建築基準法について

○ 集団規定の体系

集団規定

敷地と道路の関係

- ・ 接道義務、道路内の建築制限 等

建築物の用途制限

- ・ 用途地域、特別用途地区 等

建築物の形態制限

- ・ 容積率、建ぺい率、斜線制限、日影規制 等

防火地域・準防火地域内の制限

- ・ 耐火建築物、屋根・外壁の開口部等の防火措置 等

きめの細かい建築規制

- ・ 地区計画 等

